

防災教育アニメーションビデオ(幼児向け)

推薦：全国消防長会

アザラン・タマちゃんの 火の用心



【企画意図】

統計によると、過去30年間に発生した火災の出火原因は、放火(放火の疑いも含む)、タバコ、こんろ、火遊び、たき火が、順位の変動はあるものの常に上位5位までを独占しています。

なかでも「火遊び」は、火や炎などに興味を持ち始める2歳から6歳までの幼児によるものが殆どです。その原因は、簡単に点火できるガスこんろやガスストーブなど、便利になった日常生活が、火に対する警戒心を薄れさせたこと。また、核家族化、少子化などの社会環境の変化が、子供たちに火の恐ろしさや正しい扱い方を学習させる機会を無くしたためだといわれています。

そこで、この作品は、子供たちに火の怖さや火の扱い方を知ってもらうため、今、子供たちの人気者になっている、アザランの『タマちゃん』を主人公にして、親しみを持って楽しみながら見られるアニメーションで描き、火に対する知識を身につけてもらう目的で制作したものです。

視聴時間 11分

ビデオ価格 60,000円

不二映画・映学社 作品

作品の内容

◆子供だけの花火遊び、いいのかな？

のどかな昼下がりに――。陽差しに輝いている川原。大きな橋の下の河原で、子供たちの人気者アザラシ・タマちゃんが、寝そべて昼寝をしている。いつも昼寝をしてばかりのタマちゃんに、ドジョウとフナはあきれ顔。「タマちゃん、また昼寝だよ。」すると、近くで子供たちが、花火遊びを始めた。と、突然「バン！バン！バン！」タマちゃんのところにネズミ花火が飛んできて、破裂する。「ヒャーッ」タマちゃんは、慌てて川の中へ。川原では、ガキ大将のタケシ(5歳)をはじめ、トオル(4歳)、ケンタ(4歳)、サチコ(3歳)たちが大笑いしている。「危ないなあ。子供だけの花火は…」と心配顔のタマちゃん。

◆火の玉怪獣が現れて、タケシたちは絶体絶命！

タケシが、大きな花火に火をつけようとしているが、なかなかつかない。と、突然花火から火が噴きだして大慌て。「うわーっ」タケシは驚いて、花火を放り投げる。花火の火は、枯れ草に燃え移り、たちまち、周囲に燃え広がっていく。すると炎は、不気味な笑い声と共に、恐ろしい『火の玉怪獣』の姿になった。「火遊びをした天罰じゃ！火の恐ろしさをとくといい知らせをやる！」と、口から火を吹く火の玉怪獣。タケシたちは、逃げ場を失い、立ちすくむ。

◆タマちゃん変身！正義の勇者ファイヤーマン！

河原の火事に気が付いたタマちゃん。岸に泳ぎ着くと立ち上がり、「変身！」とポーズを決めて、なんと正義の勇者ファイヤーマンに変身した！ファイヤーマン、火の玉怪獣に向けて、強烈なパンチ！火の玉怪獣はうめき声を上げてのけぞった。攻撃を受けて、火の玉怪獣の炎はだんだん勢いが衰えていき、とどめのキックで、火の玉怪獣の体が砕け散る。そしてファイヤーマンの誘導で、タケシたちは火の海の中から脱出。ファイヤーマンがタケシたちを諭している。「子供たちだけの花火は、危険だからしないようにしようね。」

◆小さな火も、たちまち、恐ろしい火の玉怪獣に！

ファイヤーマンにやりこめられた火の玉怪獣は、悔しくて仕方がない。空を飛びながら、どこかに火遊びをしている子供はいないかと探している。次に、火の玉怪獣が目をつけたのは、マンションの部屋で、ライターをつけて火遊びをしていたヨシオ(3歳)。と、ヨシオは、ライターを持ったまま転んでしまった。火は、カーテンに燃え移り、アツという間に大きな炎になってしまふ。「怖いよ！」と立ちすくむヨシオ。

マンションの外では、火事に気付いた人たちが大騒ぎ。「早く！消防隊を！」その中に、泣き叫ぶヨシオのお母さんが。「あの部屋にはうちの子が！ヨシオが！」そばを通りかかったタケシたちも、びっくりぎょうてん。部屋では、またまた、火の玉怪獣が、不気味な笑い声をあげていた。「こら！坊主、ライターで火遊びなどするから火事になるのだ！」

◆ファイヤーマン！火事だよ！助けて！

ふたたび火事に出会ったタケシたち。急いで河原に駆け戻り、タマちゃんに向かい大声で叫ぶ。「ファイヤーマン！火事だよ！助けて！」
昼寝していたタマちゃん。飛び起きて、もう一度、ファイヤーマンに変身、空を飛んでマンションの部屋へ。火の玉怪獣とファイヤーマンの闘いが再び始まる。「今度は負けんぞ！」と火の玉怪獣、口から炎を吐き出して猛攻撃。ファイヤーマンは追いつめられる……が、両手から水を発射する必殺技『ジェット・ウォーター』で応戦。火の玉怪獣は、またもや砕け散ってしまった。ファイヤーマンのお陰で、助かったヨシオとお母さんが、喜んで抱き合っている。街の人々も喜び合っている。と、タケシが空を見上げて叫ぶ。「あ、ファイヤーマンだ！」トオルやサチコも口々に叫ぶ。「もう、子供だけの火遊びはしない事を約束するからね。」

◆最後に、タマちゃんからお父さん、お母さんに一言！
最後は、タマちゃんから保護者へのメッセージを与えていく。家庭の中での危険な物、ライター、アイロン、花火遊びなど具体例を出して、火に興味を持ち始めた幼児に、正しい火の扱い方、危険性をしっかり教えるよう、訴えていくのだ。

■推薦 全国消防長会

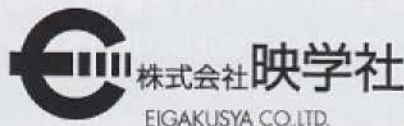
■声の出演 丸山 裕子 田村 円
石津 彩 小林 麻由子 澤山 佳小里

■スタッフ 制作・監督……高木 裕己
プロデューサー……藤原 修
脚 本……加藤 有芳
音 楽……田中 道博
制作主任……高橋 誠哉
作 画……滝沢 潤 吉崎 誠
鳥潟 美佳 吉田 利喜
制作デスク……正者 章子

■スタジオ 編集スタジオ……ビデオワーク
録音スタジオ……福島音響

■制作/著作 不二映画株式会社/株式会社映学社

●お問い合わせ、お買い上げは……



〒160-0022 東京都新宿区新宿5-15-2池与ビル3F
TEL: 03-3359-9729(代表) FAX: 03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>